



GTR

Transformative Chem-Bio Research
Nagoya University

名古屋大学 卓越大学院プログラム
トランスフォーマティブ
化学生命融合研究大学院プログラム



GTR Seminar

日時
場所

8月7日（木） 16：30～
農学部 講義棟 第2講義室

農作物と食品のメタボローム解析 ～私たちは何を食べているのか？～

京都大学大学院農学研究科・教授

及川 彰

私たちが日々食べている農産物や食品には数多くの低分子化合物が含まれている。従来の食品分析では、アミノ酸や糖など風味に関わる化合物やビタミンなど健康機能性に関与すると考えられる化合物をターゲットにしていたが、これらは農産物や食品に含まれる成分の一部にすぎない。近年の分析技術の向上により、サンプル中の低分子の網羅解析（メタボローム解析）が可能になった。本セミナーでは、農産物の品種間差や環境条件が農産物の品質に与える影響、加工や調理による食品成分の変動など、メタボローム解析を用いた「私たちが何を食べているのか」を明らかにする研究を紹介する。

連絡先

白武 勝裕

生命農学研究科 園芸科学研究室
shira@agr.nagoya-u.ac.jp

主催：卓越大学院プログラム
トランスフォーマティブ化学生命融合研究大学院プログラム